

BD/DVD/CDを100~200枚装填可能な ODAシリーズとの組み合わせで、 光メディア発行業務をグレードアップ

装置本体に高信頼性コントローラを内蔵したODA-2004/2002とコントローラと別体型のODA-1002をラインナップ。スタンドアロンでのデータ書き込み/印刷はもとより、LAN接続によるネットワーク共有もできます。2ドライブ、レーベル印刷プリンタを搭載、本機1台でDVD/CDのデータ書き込み、レーベル印刷ができ、1回のメディア装填で100~200枚の高速、大量連続処理が可能なパブリッシングシステムです。



BD/DVD/CDパブリッシングシステム
ODA-2002

UNITEX FASTDVD Publisherを標準搭載

充実した機能を備えたソフトウェア
「UNITEX FASTDVD Publisher」をプリインストール

簡単なGUI操作からコマンドラインによるバッチ処理まで、自在にこなせる「UNITEX FASTDVD Publisher」を標準装備しています。書き込みデータの指定/印刷レーベルファイルの指定、また、ジョブの優先度設定や書込速度設定、差込印刷設定など詳細設定も可能です。多彩なオプションソフトウェアとの組み合わせで、多種多様な業務に対応し、ユーザーのニーズに応えます。

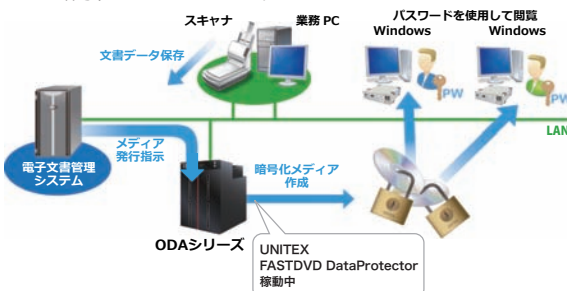
ODAシリーズ + UNITEX FASTDVD DataProtector

AES暗号化アルゴリズムにより、DVD/CDメディアへのデータ
書き込みと同時に暗号化

DVD/CDメディアに暗号化をかけることができ、また、その仕組みをシステムと連携することもできます。DVD/CDメディアごとにパスワードを変更でき、復号化プログラムを同時に書き込むことにより、Windows PCとパスワードがあればどこでも復号化できます。また、一度作成されたDVD/CDメディアは物理的に書き換え不可能な状態となり、データの改竄防止の役割も果たします。

ソリューション例

企業規模での法定提出文書の管理や個人情報の管理が求められる中、電子文書で管理される情報も増え、文書自体にセキュアな管理が必要とされるものも珍しくありません。そういったお客様のご要望にお応えする暗号化ソリューションです。



ODAシリーズ + UNITEX FASTDVD Cluster

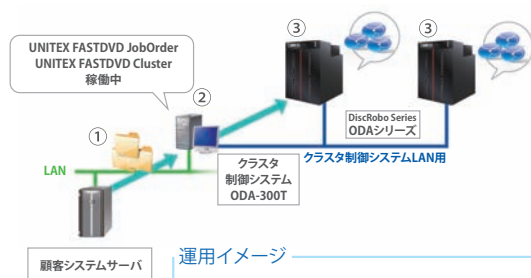
複数台のODAシリーズによるクラスタリング環境を提供

複数台のパブリッシングシステムをグループ化し、1台のCluster Serverで集中管理します。クライアントからは1台の仮想的なパブリッシングシステムと認識され、グループは複数作成することができます。業務内容ごとに使用するグループを分けることや、各パブリッシングシステムへの負荷分散をジョブ単位で行うことで、複数ジョブの同時並行処理を実現します。ジョブ単位で出力メディア枚数をカウントし、各パブリッシングシステムへの負荷を均等に振り分けます。また、ジョブの実行途中でメディア/インク切れなどにより処理が中断した場合、自動的に稼働可能な別のパブリッシングシステムへ停止ジョブの引継ぎを行います。

ソリューション例

翌朝までに大量のDVD/CD発行が必要な業務で、夜間に無人で稼働させた場合、パブリッシングシステムが何らかの原因で停止してもクラスタ化した他のパブリッシングシステムへ処理を自動的に振り替えて発行業務を継続します。

発行に伴う人的工数においても、発行済みメディアの取り出し・インクリボンの交換・ブランクメディアの装填などの業務で専属のオペレータを必要としません。



運用イメージ

- ① 既存システムより、書き込み対象のフォルダ/ファイルを UNITEX FASTDVD JobOrderの監視フォルダへコピー&リネーム
- ② UNITEX FASTDVD Clusterが各パブリッシングシステムへメディア発行ジョブを自動的に振り分け
- ③ 各パブリッシングシステムがメディア発行ジョブに従いメディアを発行障害発生時には自動で正常パブリッシングシステムへジョブをフェイルオーバー

UNITEX FASTDVD DataProtector

■ AES方式暗号化オプション

ODAシリーズ向けの暗号化オプションソフトウェアです。メディアに書き込みをする際に、Windows対応の復号化ソフトウェアを同時に書き込みます。



暗号化設定画面

Windows PCとパスワードさえあればどこでも復号化ができます。暗号化アルゴリズムには、アメリカ合衆国/総務・経産省制定プロジェクトCRYPTRECにて電子政府推奨暗号として提唱されているAES(Advanced Encryption Standard)を採用しました。

- DVD/CD書き込み時にメディアそのものを暗号化
- 「UNITEX FASTDVD SDK」を利用して、フローを連携、自動化

UNITEX FASTDVD Cluster

■ クラスタリングシステム

ODAシリーズ向けのクラスタリングソフトウェアです。ODAシリーズを「UNITEX FASTDVD Cluster」で制御。高速、暗号化、大量生産可能なメディア発行を実現します。大量作成による負荷分散、エラー時の業務停止を回避する冗長化などのクラスタリングはもちろん、メイン画面「UNITEX FASTDVD DataProtector」によるメディア単位の暗号化など、セキュリティ強化も図れます。



メイン画面

- 機器を監視し状況に応じてジョブを振り分け、並列・高速処理
- メディア作成に障害が発生した場合、正常な機器にフェイルオーバー
- コマンドラインによるバッチ処理にも対応。少人数でも業務が可能
- 効率的なロードバランシングにより、メディア交換以外を自動化可能

UNITEX FASTDVD JobOrder

■ ホットフォルダオプション

ODAシリーズにジョブのさまざまな連携機能を追加するオプションソフトウェアです。設定した「ホットフォルダ」を常時監視し、そのフォルダへ移動されたデータを自動的にメディア発行する各種ファイル/フォルダ監視機能から、より詳細にジョブ定義ファイルの形でメディア発行の仕様指定が可能なオーダーファイル監視機能まで柔軟にサポートしています。また、ジョブの解析はODA本体側で行うため、UNIX/Linux/Macintoshなど、OSが混在した環境でもさまざまなアプリケーションからメディアの発行が行えます。



メイン画面

- ホットフォルダに入ったデータを自動でメディア発行
- テキストベースのジョブ定義ファイルを作成し、定義通りに自動発行
- さまざまなアプリケーション、異なるOSと連携可能
- 差込印刷にも対応した、レーベルファイル監視機能

UNITEX FASTDVD SDK

■ ソフトウェア開発キット

「UNITEX FASTDVD Publisher」の各機能を、ユーザー独自のアプリケーションに追加するためのソフトウェア開発キットです。ダウンロード形式のみのご提供となります。通常の「UNITEX FASTDVD Publisher」では数値として取得できない、DVD/CDメディアや各色インクリボンの残数情報、総ジョブ数/待機ジョブ数なども取得できます。もちろん、「UNITEX FASTDVD Publisher」で可能な機能は全て実装できます。

- ODAシリーズ本体の状態監視
- メディア・インクリボンの残量数の取得
- イベント通知でのODAシリーズの障害情報取得
- メディア・インクリボン切れ情報取得(熱転写プリンタモデルのみ)
- ODAシリーズの総ジョブ数・待機ジョブ数の取得など

※ODA-1002Eはオプションソフトウェアの対象外となります。



ODA-1002E



ODA-1002R



ODA-2002



ODA-2004